

# 八峰町予算概要をお知らせします

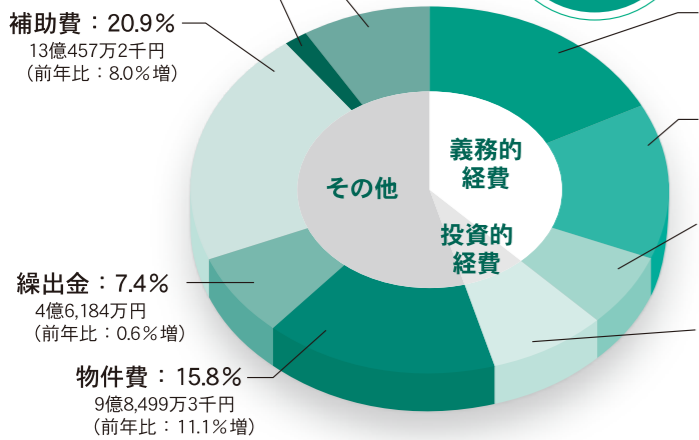
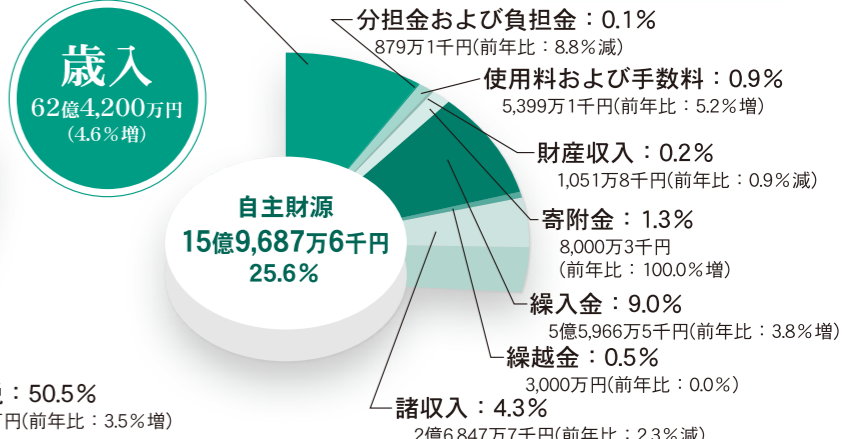
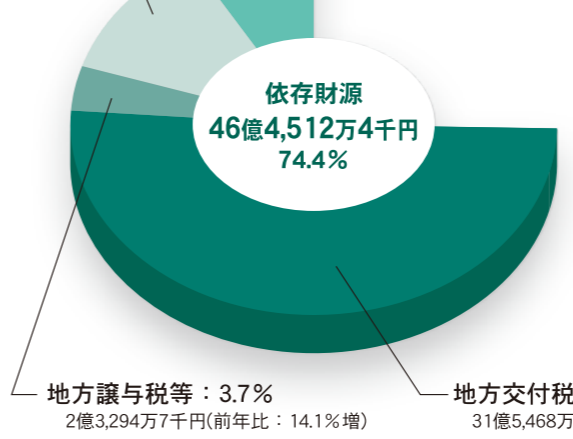
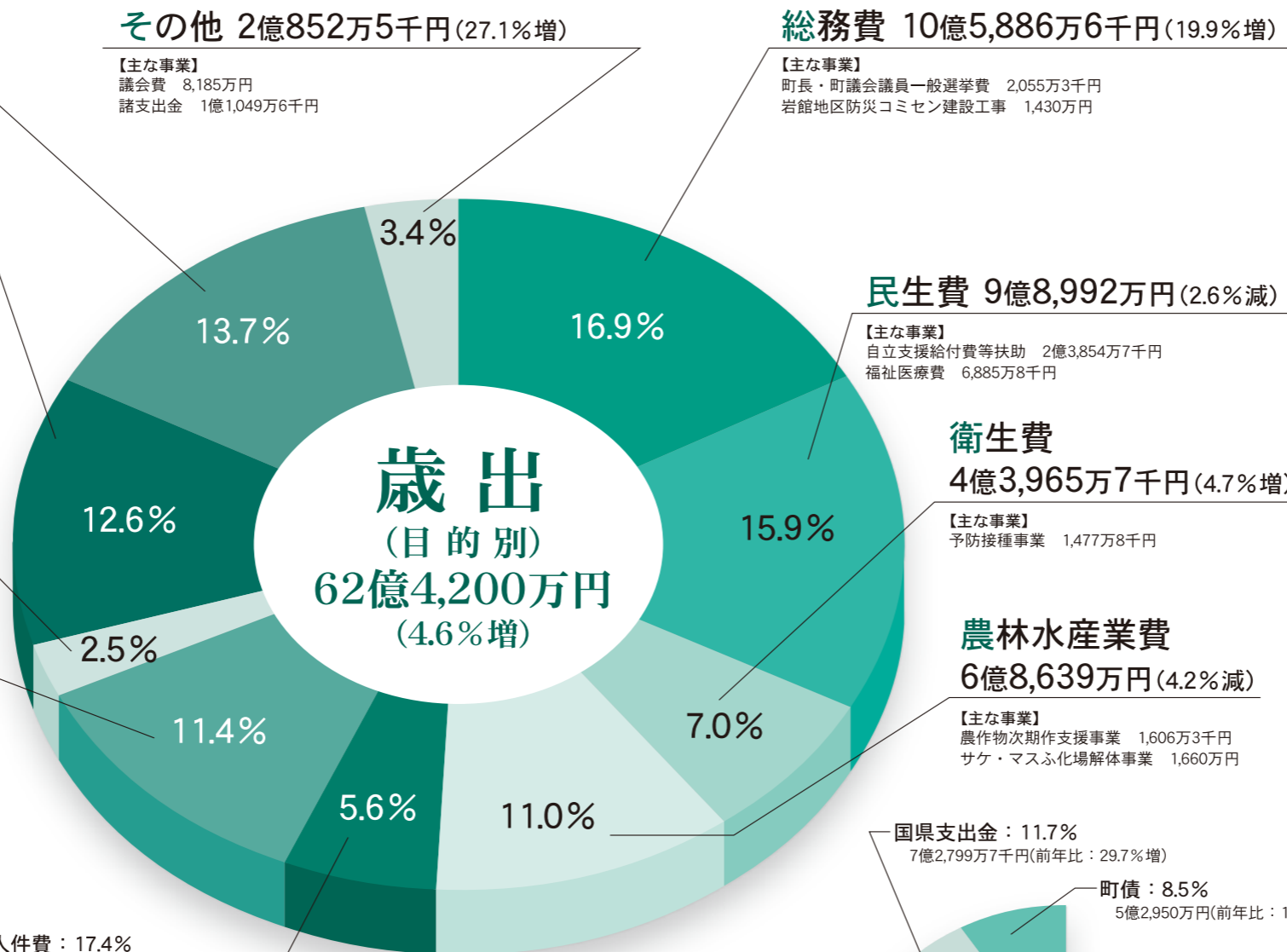
## 一般会計予算は62億4,200万円

令和4年度の一般会計予算は前年度より2億7,200万円多い総額62億4,200万円となりました。

今年度の当初予算編成に当たっては、合併以降、施設の統廃合や事務事業の見直し、定員管理などの行財政改革に取り組んできたものの、今後の財政運営については、主たる歳入である普通交付税は人口減少の影響を受け、厳しい局面が続くことが予想されることから、現在の行政サービス水準の提供が相当困難になると想定され、事務事業の取捨選択をこれまで以上に求められている状況にあることを念頭に、事業に当たることといたしました。

令和3年3月に策定した「第2次八峰町総合振興計画後期基本計画」を念頭におき、町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のための骨格予算を編成いたしました。

中でも、町が令和2年3月に策定した「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策については、人口減少の急速な進行を抑制するとともに、若い大人の方々を増やしていくため、引き続き産業振興や定住・移住対策、少子化対策に向けた取り組みを推進する予算編成としています。



会計別	令和4年度	令和3年度	前年比
国民健康保険	859,075	900,707	▲4.6
介護保険事業	1,359,870	1,365,543	▲0.4
後期高齢者医療	108,767	99,181	9.7
沢目財産区	18,670	25,417	▲26.5
町営診療所	80,386	80,920	▲0.7
合併処理浄化槽事業	3,274	3,426	▲4.4
合計	2,430,042	2,475,194	▲1.8

会計別	令和4年度	令和3年度	前年比
簡易水道事業	501,095	483,937	3.5
下水道事業	490,500	522,816	▲6.2
合計	991,595	1,006,753	▲1.5

**令和4年度 特別会計等予算**

町には一般会計とは別に、6特別会計と2公営企業会計があります。令和2年度より、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の3事業が統合し、1事業会計となっています。

令和4年度の特別会計の予算総額は24億3,004万2千円、公営企業会計の予算総額は9億9,159万5千円となっています。

(注2) 依存財源とは国や県から交付され、また、町債として町が借り入れるお金です。

**歳入**

■歳入 自主財源(注1)の柱である町税は5億8,543万1千円で1.3%前年度より増、分担金および負担金が879万1千円で8.8%減、使用料および手数料が5,399万1千円(前年比: 5.2%増)、財産収入が1,051万8千円(前年比: 0.9%減)、寄附金が8,000万3千円(前年比: 100.0%増)、繰入金が5億5,966万5千円(前年比: 3.8%増)、繰越金が3,000万円(前年比: 0.0%)、繰出金が4億6,184万円(前年比: 0.6%増)で、自主財源は15億9,687万6千円(前年比: 25.6%)、繰越金が3,000万円(前年比: 0.0%)、繰出金が4億6,184万円(前年比: 0.6%増)で、自主財源は25.6%となっています。

一方、地方交付税や国・県支出金などの依存財源(注2)の割合は74.4%となっています。収入全体の7割以上が国や県に頼る厳しい財政状況です。

■歳出

目的別では総務費が10億5,886万6千円でトップ。ついで、民生費、公債費と続いています。また、性質別では人件費、公債費、扶助費の義務的経費が23億4,941万5千円で歳出全体の37.6%を占めています。

(注1) 自主財源とは町が自主的に収入しうる財源をいい、地方税、分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入がこれに該当します。